

收受年月日	議長	事務局長	書記
3・5・28			
第 30 号			

令和3年5月28日

埴町議会議長 割貝 寿一 様



経済常任委員会委員長 下 重 義 人



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

記

- 1 調査事件
 - (1) 町道北野松岡線計画について
 - (2) 湯遊ランドはなわ施設整備状況について

2 調査の経緯

本委員会は、町道北野松岡線計画及び湯遊ランドはなわ施設整備状況について、担当課長及び職員からの聞き取り調査を行った。

調査日：令和3年4月20日（火）

出席委員：下重義人、吉村守広、藤田一男、吉田克則、菊地哲也、鈴木孝則

説明員：まち整備課長、まち整備係長

まち振興課長、商工観光係長

職務出席者：議会事務局長、書記

場所：現地

3 調査の結果

(1) 町道北野松岡線計画について

本路線は、上渋井松岡間を現在の線形とは別に新設するもので、平成30年から調査が開始されている。新設される道路は2車線道路で、JR水郡線との交差部は新たに踏切を設置する。完成すれば、林間工業団地から国道118号へのアクセスが改善され、物流道路としての役割はもちろん、こども園付近の朝夕の渋滞緩和に大きく貢献する道路となる。

今後のスケジュールは、今年度は用地取得を予定し、令和7年度完成、令和8年度供用開始を目指している。

関連事業として、新たな踏切設置に当たり、遮断機がない2つの踏切は廃止となるが、踏切廃止により周辺住民の生活等に影響がないよう、線路沿いに新

たな道路を計画し北野松岡線供用開始後に着手したいとしている。

本路線は、全線盛土となり松岡上渋井間に堰堤ができるような形になるため、水対策が重要となる。水路整備にあたっては、大雨に対してスムーズな流れを確保する必要がある。また、本道路建設によって浸水が拡大するようなことがあってはならない。

本道路は、町発展にとって重要な道路であり、交通緩和のためにも早期完成が望まれるが、水害対策の視点をもって事業を進められるよう望む。

(2) 湯遊ランドはなわ施設整備状況について

担当課より、令和2年度に実施した「湯遊ランドはなわ施設改修事業」の説明を受けた。

給湯熱源設備及び空調設備の改修であり、総事業費 125,400,000 円の大規模事業となった。改修により、年間経費 3,030,000 円、CO2 を 163t 削減できる試算となっている。令和3年2月期、3月期の実績では、目標数値以上となっていることの説明があった。

現場の説明では、ボイラー室内で改修された機器の説明、屋外の GHP (ガスヒーポン) により、災害、停電時の施設内の空調、照明の確保、更には炊き出し等も対応できる施設となっており、福祉避難所としての役割も今後大いに期待できると思われる。

施設内の該当する空調設備についても、各所で温度調整ができる仕組みとなったことにより、お客様への快適な空間提供にもつながったのではと感じられた。今後、各改修施設内の整理整頓と、湯遊ランドはなわへの更なる誘客につながることを期待する。

4 委員報告書

別紙のとおり

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 3 年 4 月 24 日

議会議長
委員会委員長 様



提出者 吉村 守広

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査報告		
派遣の 日時	令和 3 年 4 月 20 日	派遣先 (場所)	現地
内容	<p>1. 町道新設北野松岡線計画について</p> <p>2. 湯遊ランドはなわ施設整備状況について</p>		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1. 北野松岡線について これまでに用地の境界はほぼ確定し、令和 3 年度は用地幅杭設置測量を委託契約、秋頃から用地補償交渉が始まる予定である。そして令和 4 年から令和 7 年にかけて改良工事をし、令和 8 年度に本線共用開始となる予定である。 現在の胡桃下地内の危険な状況を改善するためにも早期開通を望む。</p> <p>2. 湯遊ランドはなわについて 令和 3 年 1 月に実施された改修工事は、温泉受水槽改修や空調改修等である。この改修により保温効果を上げ、放熱ロスを抑制することにより、燃料や CO₂ の削減ができるとしている。また、空調改修でも A 重油からガスに切り替えることにより、同様の削減ができるとしている。さらに、災害による停電時には 72 時間稼働でき、調理器具への接続も可能となっている。試算では、年間経費を 303 万円、CO₂ を 163t-CO₂ (2017 年度比 7.6%) 削減できるとしている。 CO₂ の削減で環境にやさしく、経費の節約で経営改善にも繋がり、さらに災害時にも一時避難所として十分対応できる改修だと感じた。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
3・4・26			
第 号			

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 3 年 4 月 30 日

議会議長
委員会委員長 様

提出者 菊地 哲也

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査報告書														
派遣の 日時	令和 3 年 4 月 2 0 日	派遣先 (場所)	現 地												
内容	<p>○町道新設北野松岡線予定地の現地調査</p> <p>○湯游ランドはなわ設備の改修事業について</p>														
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>○町道新設北野松岡線 工業団地を控える上渋井地区と国道 1 1 8 号線を直結するととても重要な町道である。また、新しくできる踏切への接続道路を東白衛生組合クリーンセンターへの延長整備も検討しているとのことで町民の利便性もとても良くなる。町道開通後は沿道付近の光景も変わってくるものと思われる。また、町道塙棚倉線との交差点の安全性は十分に考慮しなければならない。</p> <p>○今回の給湯熱源設備の改修により、温泉受水槽が機械室の中に設置され、源泉温度の低下を抑制する。また、空調設備を GHP に切り替え光熱費と CO2 を削減する。当改修事業により 2 0 1 7 年度比で年間経費を約 3 0 3 万円、CO2 を 1 6 3 t (7 . 6 %) 削減できるとしているが、今後、検証、確認が必要と思われる。また、メンテナンスに要する費用、時間の検証も必要である。</p>														
	<table border="1"> <tr> <td>提出年月日</td> <td>委員長</td> <td>事務局</td> <td>書記</td> </tr> <tr> <td>3・4・30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>第 号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	提出年月日	委員長	事務局	書記	3・4・30				第 号					
提出年月日	委員長	事務局	書記												
3・4・30															
第 号															



調査・研修等報告書

氏名	吉田 克則	提出年月日	令和3年4月30日
調査等名称	経済常任委員会所管事務調査		
調査等の日時	令和3年4月20日 9:00～	場所	現地
調査等の内容	① 町道新設北野松岡線計画について ② 湯遊ランドはなわ施設整備状況について		
意見感想	<p><input type="checkbox"/>町道新設北野松岡線計画について現地において、まち整備課から聞き取り調査を実施した。</p> <p>計画事業スケジュールでは令和3年度用地幅杭設置測量や用地補償交渉等を進め、令和8年度本線供用開始を目指すこととしている。上渋井地区と松岡を結ぶ現在の町道北野松岡線を南側に新設する路線である。開通すれば国道118号線から西河内工業団地等に出入りする大型車両の大半は新設路線を通行すると思われた。</p> <p><input type="checkbox"/>湯遊ランドはなわ施設整備状況について、現地「湯遊ランドはなわ」において、まち振興課から整備状況の説明を受けた。</p> <p>令和2年度の設備改修事業をしたもので給湯熱源、空調設備等である。総事業費1億2千6百万円の大規模事業となった。補助金、起債、町費で工事は進められたもので多くの税金が使われている。</p> <p>調査日は天候に恵まれて行楽日和にもかかわらず「湯遊ランドはなわ」のお客様利用は残念ながら少ない状況であった。コロナ過での集客は容易では無いが設備投資したからには事業効果が表れるように最善の努力を願いたい。</p> <p>追記、調査現時点において施設内の整理整頓が不備であったので指摘しておきたい。</p>		

埴町議会

收受年月日	委員長	事務局長	書記
3・4・30			
第 号			

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 3 年 4 月 3 0 日

議会議長
委員会委員長 様




提出者 鈴木 孝則

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 3 年 4 月 2 0 日	派遣先 (場所)	上渋井地内・湯遊ランドはなわ
内容	1 町道北野松岡線計画について 2 湯遊ランドはなわ施設整備状況について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	1 本年度より用地補償交渉を始め令和 4 年度から設計、改良工事に着手、令和 8 年度供用開始の予定である。県道大津港線のバイパスともなり時間帯規制を取り入れ通学の安全確保に寄与するものと思われる。また林間工業団地へのアクセスがスムーズになり早期の開通を期待したい。 2 老朽化した重油ボイラーを LP ガスに変更。受水槽を屋外から屋内へ設置し空調回収も行った。Co2 削減と経費削減を見込んでいる。 大きな施設改修設備改修はほぼ完了したと思われるが本丸の収支の改善に期待する。		

収受年月日	委員長	事務局長	書記
3・4・30			
第 号			

埴町議会

収受年月日	委員長	事務局長	書記
4.5.7			
第 号			



調査・研修等報告書

提出年月日 令和3年5月7日(金)

経済常任委員長 下重 義人

経済常任委員会所管事務調査

- 調査等の内容
1. 町道北野松岡線計画について
 2. 湯遊ランドはなわ施設整備状況について

1. 町道北野松岡線計画について

(概要)

本路線は、上渋井松岡間を現在の線形とは別に新設するもので、平成30年から調査が開始されている。新設される道路は、延長500m、幅員10.25m、(うち歩道3.0m)の2車線道路で、JR水郡線との交差部は新たに踏切を設置する。完成すれば林間工業団地から国道118号へのアクセスが改善され、物流道路としての役割はもちろん、こども園付近の朝夕の渋滞緩和に大きく貢献する道路となる。

(スケジュール)

事業着手から現在までは、道路計画の測量設計や土地境界測量を実施、またJRと踏切の新設協議などを進めており、今年度は、用地取得を予定している。

今後のスケジュールは次の通りで令和7年度完成、令和8年供用開始を目指している。

- 令和3年度 用地補償
- 令和4年度 国道付近詳細設計、改良工事
- 令和5年度 改良工事、踏切工事
- 令和6年度 改良工事
- 令和7年度 舗装工事

(関連事業)

新たな踏切設置にあたっては、2つの踏切(遮断機がない踏切)廃止をJRから要請されており、町は、上渋井地内の2つの踏切を廃止することに同意した。このため町は、踏切廃止によっても周辺住民の生活等に支障が無いよう、線路沿いに新たな道路を計画し、北野松岡線共用開始後着手したいとしている。

(水害対策)

本路線は、全線盛土となり、松岡上渋井間に堰堤ができるような形になる。このため、水対策が重要である。本路線と交差する主要な水路整備にあたっては、十分な断面積を取るなど大雨に対してもスムーズな流れを確保する必要がある。また、周辺部は令和元年台風19号の際に浸水していることから、本道路建設によって浸水が拡大するようなことがあってはならない。

本道路は、町発展にとって重要な道路であり、街中の交通緩和のためにも早期の完成が望まれるが、水害対策の視点をもって事業を進められるよう望むものである。

2. 湯遊ランドはなわ施設整備状況について

令和2年度に行なわれた、『湯遊ランドはなわ施設改修事業』の説明を受けた。

(本改修工事費の内容)

契約額125,400,000円のうち補助金額32,934,875円、一般財源から92,465,125円とこのこである。また、起債として辺地対策事業債48,100,000円、緊急防災・減災対策事業債34,400,000円となっていた。

(改修事業の目的)

- (1) 老朽化のため、早期の更新が必要な設備の改修
- (2) 設備の高率化改修による省くCO₂促進
- (3) 一時避難所としての機能強化を行うための改修工事

(該当設備)

- (1) 給湯熱源設備（温水受水槽、温水ボイラ、貯湯槽）
- (2) 空調設備（冷温水発生機、冷却塔）

これら改修工事によるCO₂削減量及び経費削減効果について、温水受水槽、空調改修、配管保温の各削減効果について説明があり、改修施設全体で、年間経費を3,030,000円、CO₂を163t-CO₂削減ができる試算をしているとのことである。

令和3年2月期、3月期による実績では、目標数値以上となっている旨説明があった。

現場の説明では、ボイラー室内で改修された機器の説明、屋外のGHP（ガスヒーポン）により、災害、停電時の施設内の空調、照明の確保、更には吹き出し等も対応できる施設となっており、福祉避難所としての役割も今後大いに期待できると思われる。

施設内の該当する空調設備についても、各所で温度調整が出来る仕組みとなったことにより、お客様への快適な空間提供にも繋がったのではと感じられた。今後は各改修施設室内の整理整頓と湯遊ランドはなわへの更なる誘客に繋がることを期待したいものである。